

「Society 5.0 TOWN」、初参加の12社/団体を含む、24社/団体が参画決定 — 2030年の未来の「まち」をCEATEC 2019にて展開 —

CEATECの主催団体の1つである、一般社団法人電子情報技術産業協会（JEITA：代表理事/会長 遠藤信博 日本電気株式会社 取締役会長）は、本年10月15日(火)から10月18日(金)の会期で開催される「CEATEC 2019」（会場：千葉市・幕張メッセ）において、企画展示「Society 5.0 TOWN」を、CEATEC初参加となる12社/団体を含む24社/団体の参画を得て、初めて展開することを発表しました。

「Society 5.0 TOWN」参画企業・団体一覧（7月29日現在）※五十音順

- 株式会社アクセルラボ
- ANAホールディングス株式会社【初】
- 大阪ガス株式会社【初】
- 株式会社大林組【初】
- Origin Wireless Japan 株式会社
- 関西電力株式会社【初】
- SoundUD 推進コンソーシアム【初】
- 清水建設株式会社【初】
- JapanTaxi 株式会社【初】
- 株式会社JTB
- 大成建設株式会社【初】
- 株式会社竹中工務店
- 大日本印刷株式会社【初】
- 戸田建設株式会社【初】
- 凸版印刷株式会社
- トレジャーデータ株式会社【初】
- 株式会社バンダイ
- 東日本高速道路株式会社（NEXCO 東日本）
- 広島県【初】
- マゼランシステムズジャパン株式会社
- 豆蔵ホールディングスグループ
- 株式会社三井住友フィナンシャルグループ
- 三菱地所株式会社
- 株式会社LIXIL

Society 5.0 TOWNは、サービス産業を中心とした複数企業による共創型の参画により、2030年の未来の「まち」で実現が見込まれるエネルギーや交通・インフラ・防災などの都市機能サービス、物流・販売・金融などの商業サービス、医療・娯楽・生涯学習などの生活サービスなど、多様なサービスを各業界のフロントランナーの参画を得て初めて展開するもので、昨年まで主催者企画として展開していた「IoTタウン」を進化・発展させて開催する企画展示です。

CEATEC初参加となるモビリティ、運輸、建設、電気・ガス業界からの参画企業を迎え、モノとサービスが一体化したソリューション・サービス（B2B2C）を提案します。また、複数の業種・産業が技術とノウハウを共創することで生み出されるモノやサービスを紹介する「共創ゾーン」も併せて展開します。

Society 5.0の実現に向けて動き出したフロントランナーによる、未来に向けたさまざまな連携や共創を発信するSociety 5.0 TOWNにご期待ください。展示内容などの詳細は改めて発表します。

[CEATEC 2019 開催概要]

会 期：2019年10月15日（火）～18日（金） 10時～17時

会 場：幕張メッセ（千葉市美浜区中瀬 2-1）

開催テーマ：つながる社会、共創する未来

入 場：無料（全来場者登録入場制）

主 催：CEATEC 実施協議会

一般社団法人電子情報技術産業協会（JEITA）

一般社団法人情報通信ネットワーク産業協会（CIAJ）

一般社団法人コンピュータソフトウェア協会（CSAJ）

■CEATECについて

「つながる社会、共創する未来」をテーマに、CPS/IoTなどのテクノロジーを活用した未来を発信する「Society 5.0の総合展」です。IT・エレクトロニクス産業をはじめ、モビリティや金融、旅行や住宅など、あらゆる産業・業種における国内外のフロントランナーが一堂に会して、各社の将来ビジョンやビジネスモデルなどの未来の社会に向けた先進的な取り組みを披露しています。2018年は出展者数725社/団体、来場者数15万6,063人でした。詳細はwww.ceatec.comをご覧ください。

【本件に関する報道関係者からのお問合せ先】

一般社団法人電子情報技術産業協会（JEITA）経営企画本部 政策渉外部 広報室（担当：吉田）

TEL：03-5218-1053 Mobile：080-7749-2249 E-mail：press@jeita.or.jp